

古民家のすばらしさ



昭和の後半に書かれた下諏訪町誌を読むと、古い建物の写真が写っています。現代の建物と比べると低かったり、木造建築だったりと、地面がコンクリートではなく砂や石だったり、自然そのものという感じがします。中には、釘を一本も使っていない家もあります。それなのに、地震にも耐え二百年近く健在な古民家もあります。

密閉性が高い現在の家

現在の家は、どちらかと言うと洋式になってきています。洋式の家は窓や戸が前後に開く開き戸で、サッシや鍵の作りも密閉性が高くなっています。主にヨーロッパなど寒い地方の家の様式なので、保温のためと考え



られます。最近では自然発電やIHなど様々な便利な設備がついています。しかし密閉性が高く風が入らないため、空調を多く使うこととなります。これは、お金もかかりますし、時に環境問題にもつながります。

古民家のよさ

和式の古民家は、窓や戸をスライドさせる引き戸で、風通しを調節することができます。また、家の中と外との間に縁側があります。長いひさしは、夏、陽射しを遮り、暑さを和らげる効果があります。

私が特にいいと思うのが、建築に使われる、樹齢約三百年と推定されるけやきの木です。今では保存樹とされる貴重な木ですが、昔はこのような木がふんだんにあり、それを使って民家が造られてきました。古材はよく乾燥しているため、狂いが少なく、そして、火にも負けない強度があります。江戸時代、「火事と喧嘩は江戸の華」と言われるほど頻繁に火事が起こり、風の強い日には町中を焼きつくす程だったと言われます。その火災対策として、古民家の柱や梁にはぜいたくな太い木が使用されました。表面は焦げますが、太い木はそれによって炭化皮膜というものができるので、それ以上燃えるのを防いでくれます。温度が千度になっても燃え崩れません。

また、約二、三十センチある土壁は燃え広がりを食い止めます。それに、梅雨の時期には湿気を吸収し、乾燥した時期には放出する役割を果たします。それが家を適度な湿度に保つのに役立ちます。

良い点はこれだけではありません。日本の家は主に夏を快適に過ごせるように造られているため、風通しも良く涼しく過ごせます。冬はいろいろで火を焚いていました。家の中で火を焚くには、やはり風通しが良くないといいけません。日本家屋の風通しの良さは、夏にも冬にも共通する必要不可欠なことなのです。気密性の高い家で見られるシックハウス症候群の心配もなく、健康的に過ごせます。

今の日本の技術と融合すれば、古民家は、実は環境に優しく、人情にふれることもできるので、今の日本の技術と古民家の素晴らしい造りが融合すれば、きっと良い建造物ができると思っています。

（下諏訪中学校三年時に執筆
現在 諏訪二葉高校一年）

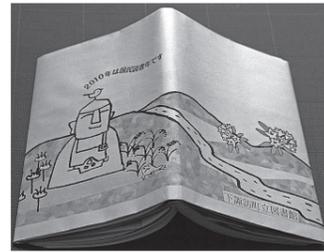
教育委員会からのお知らせ

町図書館オリジナルブックカバーをプレゼント！

万治の石仏をデザインした町図書館のオリジナルです。希望の方は、図書館受付にてお申し出ください。本を読むのが一層楽しくなりますよ。

12月いっぱい受け付けていますので、是非ご来館ください。

（問い合わせ先：町図書館 ☎27-5555）



平成23年 下諏訪町成人式のお知らせ

成人該当者：平成2年4月2日～平成3年4月1日までに生まれた人～



期日：平成23年1月9日（日）
受付：午前11時30分
入場：受付終了次第
開式：正午
場所：下諏訪総合文化センター



該当者（当町在住の方・親等が在住の方）には、出欠席の往復ハガキを11月初旬にお送りしました。必要事項をご記入の上、12月3日（金）までにご返信ください。

記念となる成人式を自分たちで運営してみませんか？

成人を迎える方の中から、成人式運営スタッフを募集します。

役割は、式典受付・町民憲章の唱和・成人の詞・司会・祝電披露などです。

希望される方はご連絡ください。

問い合わせ：下諏訪町教育委員会 生涯学習係
☎27-1111（内線718）

十一年の師走

「師走」の由来について、十二月は年末で皆忙しく、普段は走らない師匠の僧さえもお経をあげるために趨走することから「師趨」と呼ばれ、これが「師走」となったといわれています。また、「為果つ月」すなわち一年の終わりの月が「しはつ」となり、「師走」の宛字となったともいわれています。

十二月は、一年の出来事や自分の身の回りのことを振り返り、翌年への期待と抱負を抱く月であると私は思っています。この一年を振り返ってみれば、諏訪地方は御柱祭一色に染まった年で、私自身も十二月の御柱祭役員解散式でやっと解放される事になります。目を閉じれば、あの雄大な木落し、ひびき渡る木遣り衆の声、普段はあまり話さない地域の方々と一緒に触れ合いながら楽しんだ小宮祭、忙しいながらも充実した一年でありました。皆さんもこの一年を振り返り、新年への希望を抱いてはいかがでしょうか。

（小口）